Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

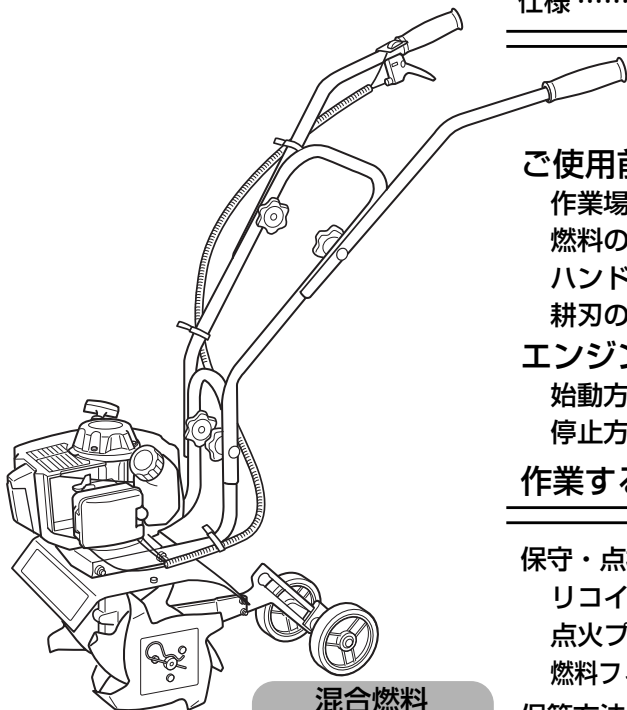
用途
家庭菜園、花壇、小規模農園
などでの耕耘、中耕または
除草作業

日立 エンジン カルチベータ
UH 31E(P)

このたびは日立エンジンカルチベータをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

はじめに

使い方

その他

混合燃料

燃料混合比		
無鉛ガソリン		2サイクル専用オイル
25	:	1

HITACHI

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機及び取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。

取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意などに従って安全に使用してください。

引火しやすい燃料を使用するため、本機に火気を絶対に近付けないでください。

混合燃料を入れてください。

本機に火気を近付けないでください。

保安帽（ヘルメット)、保護メガネ、手袋、安全靴など防護具を着用してください。

本機の近くでたばこを吸わないでください。

マフラーやその周囲は、高温になりますので絶対に触れないでください。

排気ガスは人体に有害ですので直接吸わないでください。

回転中の耕刃は非常に危険ですので絶対に近づかないでください。

⚠危険、⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **危険**」、「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危険 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。**

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

エンジン工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 危険

火気に注意してください。

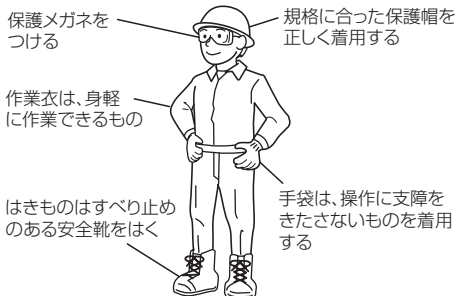
- 燃料の補給はエンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。
- たばこを吸ったり、火気を近づけないでください。
- 燃料がこぼれたら、よくふき取ってください。
- 運転中は燃料タンクのキャップをはずさないでください。
- 燃料、可燃性ガス、その他の可燃物のある場所では使用しないでください。
- 乾燥地帯で使用する場合は、消火用具を準備してください。
爆発や火災、やけどの原因になります。

⚠ 警告

① 指定された用途以外に使用しないでください。

- けがの原因になります。

② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- そで口をきちんと閉めた作業服、すそ閉まりのよい長ズボンを着用してください。
- 耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

③ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているとき、身体の調子が悪いときは、使用しないでください。
- 視覚や敏しょう性、判断力に影響するような酒類、薬物を飲んでいる人は使用しないでください。

はじめに

⚠警告

④ 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

⑤ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、エンジン工具に触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑥ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人にはエンジン工具を使用させたり、貸さないでください。
- 初めて使用する方は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

⑦ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

⑧ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- 足もとが不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑨ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント、先端工具（刃具など）以外のものは、事故やけがの原因になるので、使用しないでください。

⑩ 始動前に先端工具（刃具など）を点検してください。
- 先端工具（刃具など）にヒビ割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 先端工具（刃具など）が確実に取付けられているか確認してください。先端工具（刃具など）が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑪ 始動前に各部を点検してください。
- 機体、飛散防護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、グリース、燃料漏れ、電気配線のいたみ、その他、運転に影響するすべての箇所に異常がないか確認してください。
  異常がある場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑫ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- エンジンを始動する前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑬ エンジンを始動する場合は注意してください。
- 機体を平らな場所においてください。
- 15 m以内に人や動物を近づけないでください。
- スロットルがアイドリングの位置にあることを確認してください。
- 先端工具（刃具など）が地面や被削材などに触れていないことを確認してください。
- 周囲にかれ草、紙くず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。
- 燃料を補給した場所から3 m以上はなれた場所で行ってください。
  不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

⚠警告

⑭ ストップスイッチを停止の位置にしたときエンジンが確実に止まることを確認してください。また機体からはなれるときは、ストップスイッチを停止の位置にしてください。

⑮ スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので注意してください。

⑯ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足もとをしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 足もとの不安定な場所では使用しないでください。
  転倒するなど、思わぬ事故の原因になります。

⑰ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。

⑱ 回転速度をむやみに上げないでください。

- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
- 作業の負荷に応じてスロットルレバーを調整しながら使ってください。
  飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。

⑲ 次の場合はエンジンを停止し、先端工具（刃具など）の動きが止まるのを確認してください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 作業場所を移動する場合。
- 先端工具（刃具など）、アタッチメント、その他機体の点検、調整、交換などを行う場合。
- 機体に巻き付いたごみや草を取除く場合。
- 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
- 機体を身体からはずす場合。
- その他、危険を感じた場合、危険が予想される場合。
  エンジンや先端工具（刃具など）が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。

**⑳ 他の人を 15 m以内に近づけないでください。
また、二人以上で作業する場合も、 15 m以上はなれてください。**

- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
- 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
- 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

㉑ 排気ガスに注意してください。

- 屋内や換気の悪い場所で始動したり、作業しないでください。
- 建物、その他の設備に排気ガスが入らないように注意してください。
  ガス中毒や窒息の原因になります。

㉒ 作業中は点火プラグキャップ部、高圧コードに触れないでください。

- 電気ショックを受ける可能性があります。

㉓ 作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン本体、マフラー、特に排気口などに触れないでください。

- けがややけどの原因になります。

⚠警告

㉔ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにエンジンを止めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
- そのまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

㉕ **誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があるとけがや火災の原因になります。

㉖ **機体を車で運搬する場合は、燃料タンクから燃料を完全に抜き取ってください。また、機体が動かないように固定してください。**
- 火災や事故の原因になります。

⚠注意

① **本機は 2 サイクルエンジンですので、混合燃料 25：1（無鉛ガソリン： 2 サイクル専用オイル）を使用してください。**
- ガソリンだけでエンジンをかけたり、混合比を間違えるとエンジンが故障する原因になります。

② **使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、先端工具（刃具など）をはずすか、カバーをかぶせてください。**
- 先端工具（刃具など）が身体に触れて、けがの原因になります。

③ **機体は注意深く手入れしてください。**
- 安全に効率よく作業していただくために、先端工具（刃具など）は常に手入れし、刃具類はよく切れる状態にしてください。
- 付属品やアタッチメントの交換、機体の手入れ、注油などは取扱説明書に従ってください。

④ **修理は専門店に依頼してください。**
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- ストップスイッチは停止の位置にして保管してください。
- 燃料を抜き取り、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。

⑥ **燃料は安全な容器に入れ、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。**

⑦ **警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。**
- 警告ラベルはお買い求めの販売店にお申しつけください。

⑧ **作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。**

本製品の使用上のご注意

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、エンジンカルチベータとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 耕刃は、確実に取付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。

- 異常があるまま使用すると、けがの原因になります。損傷や変形がある場合は、新品と交換してください。

② 飛散防護カバーは必ず取付けて作業してください。

- 取りはずして作業すると、けがの原因になります。

③ 回転中の耕刃には、絶対に触れないでください。

- 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。

④ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。また、木の根や岩のあるところでの作業はしないでください。

- 耕刃の損傷や、けがの原因になります。

⑤ 耕刃に石などの硬いものが当たったり、草や、ひもなどの異物が巻きついたときは、すぐにエンジンを停止し、異物を取除き、耕刃に損傷や変形などの異常がないか確認してください。

- 異常があるまま使用すると、けがの原因になります。損傷や変形がある場合は、新品と交換してください。

⚠注意

① 作業中は、左右のハンドルをしっかり押さえ、正しい姿勢でバランスを取ってください。

② 指定された用途以外に使用したり、水中で作業しないでください。

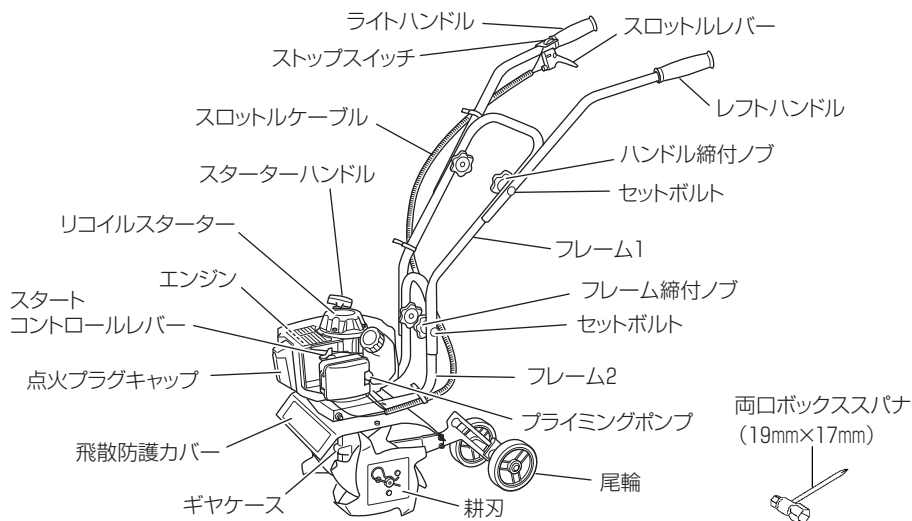
③ 1日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用を避け、30～40分作業したら10分以上休憩してください。

- 行政機関では、作業者の健康管理のため次のような指導をしております。

1回の連続使用	30分以内
連続使用日数	3日以内
1ケ月の使用時間	40時間以内

1日の使用時間	2時間以内
1週の使用日数	5日以内

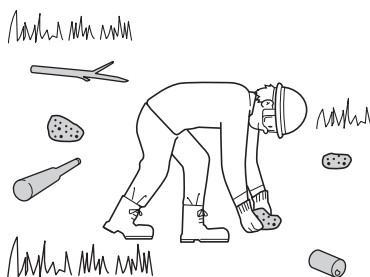
はじめに

各部の名称

仕　様

項目 ＼ 形名		UH 31E（P）
エンジン	型式	強制空冷２サイクルガソリンエンジン
	名称	P 31 型
	気化器	ダイヤフラム型（プライミングポンプ付）
	排気量	30．8 mL
	点火プラグ	Champion RCJ6Y
	使用燃料	混合燃料 無鉛ガソリン：２サイクル専用オイル（25：1）
	タンク容量	0.67 L
本機	駆動装置	遠心クラッチ、クラッチドラム、ウォームシャフト、 ドライブシャフト（ホイルギヤ）
	減速比	32：1
	耕刃サイズ	φ 220 mm －4 枚刃
	耕刃数	4 枚（右側　内外、左側　内外）
	耕耘幅	235 mm
	耕耘深さ	60 ～ 100 mm
寸法（全長×全幅×全高）		830 × 470 × 980 mm
重量		13.5 kg

ご使用前の準備

●作業場所の整備

空き缶、針金、石、ひもなどの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。
また、木の根や岩のあるところでの作業はしないでください。
耕刃の損傷や、けがの原因になります。
けがや事故、故障の原因になると予想できる物が作業場所にないか事前に確認し、ある場合には、あらかじめ取除いてください。

○騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●燃料の準備

⚠ 危険

- **燃料給油中はタバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけてはいけません。**
  火災またはやけどの原因になります。
- **給油中に燃料をこぼしたときは良くふき取ってください。**
- **燃料は金属製の燃料缶に入れて保管または運搬してください。**
  樹脂製タンクに入れて保管または運搬しますと、静電気が発生し発火することがあります。

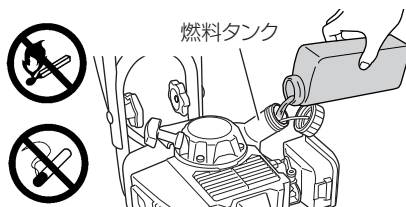
燃料は混合燃料 25：1
(無鉛ガソリン： 2 サイクル専用オイル)
を使用してください。

別容器でよく混ぜてから燃料タンクに入れてください。

こぼれないように、燃料タンクの口元一杯まで入れないで 8 分目程度にしてください。

注
- **燃料は、必要以上に混合しないで、作業に必要な量をその都度準備してください。**
  １ヶ月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因になります。
- **燃料を樹脂製タンク内に保管しないでください。**
  樹脂の成分が燃料の中に溶けだし、気化器が故障する原因になります。特にペットボトルなどは使用しないでください。
- **ガソリンだけで絶対に運転しないでください。**
  エンジンが故障する原因になります。

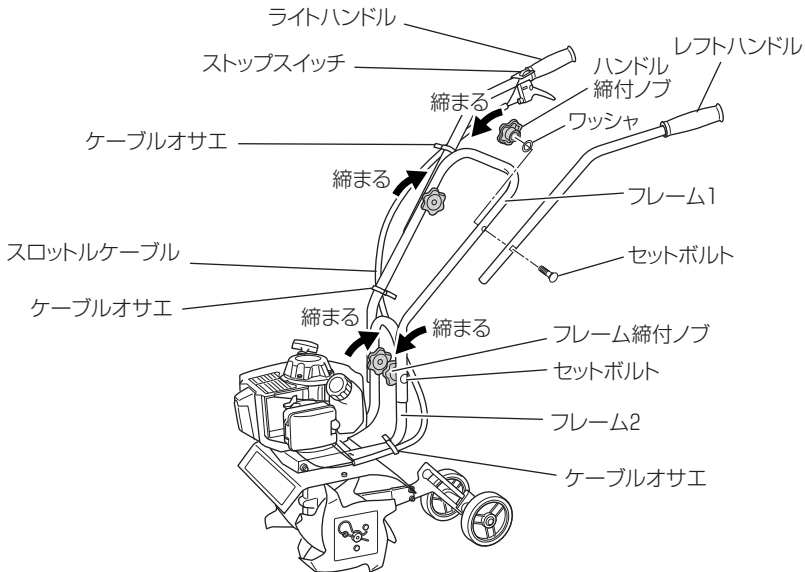
はじめに

使い方

●ハンドル部の組立て

本体は組立済みですのでハンドル部の組立てのみで使用できます。

1 フレーム 1 を上方からフレーム 2 にさし込み、フレーム 1 とフレーム 2 の穴を合わせ、セットボルトを外側から入れ、ノブで締付けます。

2 レフトハンドルとライトハンドルをそれぞれフレーム 1 の穴と合わせ、セットボルトを外側から入れ、ノブを締付けます。

3 ケーブルオサエ（3 個）でスロットルケーブルをハンドル、フレーム 1 、フレーム 2 に固定します。

●耕刃の交換方法

工場出荷時、耕刃は本体に組立済みです。
耕刃が摩耗したり、破損したときは以下の手順で新品と交換してください。

⚠警告

耕刃交換の際は、必ず手袋を着用してください。
けがをする恐れがあります。

⚠注意

- **エンジンを停止し本機が完全に冷えてから行います。**
- **耕刃は使用中に磨かれて刃物のようになっております。けがをしないように安全な手袋をして作業をしてください。**

注
- **通常耕刃は４枚平均に摩耗します。交換の際は全部一緒に交換してください。**
- **４枚の耕刃はそれぞれ異なっており取付け位置と向きがきまっています。運転者側から見て左から各々Ｌ１、Ｌ２、Ｒ２、Ｒ１とし、それぞれに刻印が打ってあります。**
- **内側の耕刃Ｌ２とＲ２の歯は右曲がりと左曲がりになっています。**
- **外側の耕刃Ｌ１とＲ１の歯は全て内側に曲がっております。**

取りはずし

1 お手持ちのペンチなどでスナップピン（左右２個）を引き抜きます。

2 耕刃を外側からゆっくり、抜き取ります。

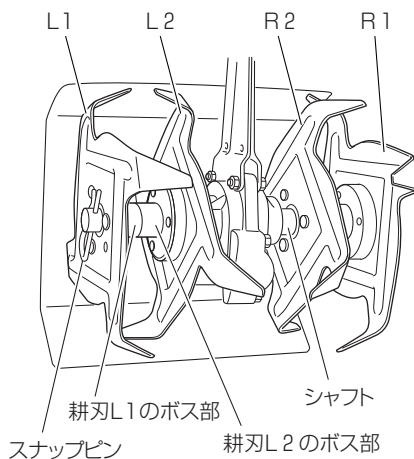
取付け

1 運転者側から見て左のシャフトに耕刃Ｌ２をさします。
このとき、ボス部を外側にしてさします。

2 耕刃Ｌ２の横に耕刃Ｌ１のボス部を内側にしてさします。

3 シャフトにスナップピンをさし、耕刃を固定します。

4 右側のシャフトにも同じように耕刃Ｒ２、R1の順で取付けます。

使い方

エンジンの始動／停止

⚠警告

エンジンを始動する場合は次のことに注意してください。

- **機体を平らな場所においてください。**
- **15 m以内に人や動物を近づけないでください。**
- **スロットルがアイドリングの位置にあることを確認してください。**
- **周囲にかれ草、紙くず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。**
- **燃料を補給した場所から 3 m以上はなれた場所で行ってください。**

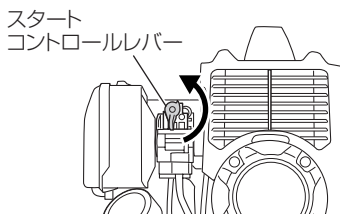
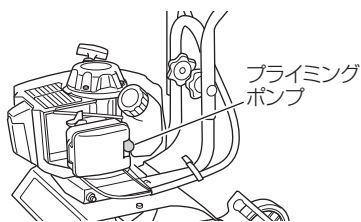
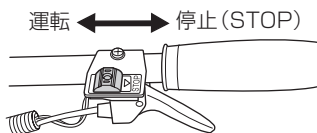
不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

●始動方法

1 ストップスイッチを運転の位置にします。

2 気化器の下にあるプライミングポンプ（半球状透明バルブ）を数回押して、プライミングポンプに燃料が流れて来たら押すのをやめます。

注
- **スタートコントロールレバーを始動位置（START）からさらに左へ回すと破損します。**
- **エンジンの再運転などでエンジンが暖まっているときは、3 のスタートコントロールレバーの操作は不要です。**

3 スタートコントロールレバーを始動位置（START）にします。

4 図の様に左手でフレーム2をしっかり押さえ、スターターハンドルを最後まで引ききらない程度まで数回力強く引いください。

注 **引いた後ハンドルを手放さないでロープをゆっくり戻してください。**

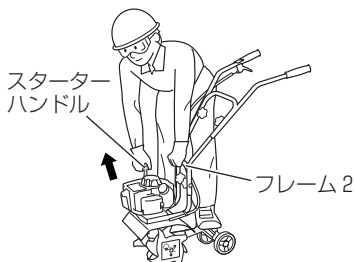
5 初爆（ポン、ポンという爆発音がします）があり、そのまま継続していたらスロットルレバーを少し引き、ゆっくり戻してください。
スタートコントロールレバーが自動的に運転位置（RUN）に戻ります。

6 5の操作で2〜3回爆発して停止したら、再度スターターハンドルを引いてエンジンを始動してください。

7 6の操作でも始動しない場合は、3からの操作を繰り返してください。

8 始動したら使用前に低速回転で2〜3分間暖機運転をしてください。
（スロットルレバーを放すとアイドル位置に戻り、低速回転になります。）

⚠警告

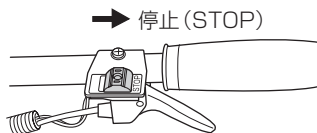
- **スターターハンドルを引くときは、必ず後ろに立って引いてください。**
エンジン始動と同時に耕刃が回転して動き出すことがありますので注意してください。
- **スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。**

注 **ご購入後、初めてお使いになるときは、エンジン各部のなじみを十分にするため、最初から10時間ぐらいまであまり回転を高くしないで作業し、ならし運転をしてください。**

●停止方法

⚠警告

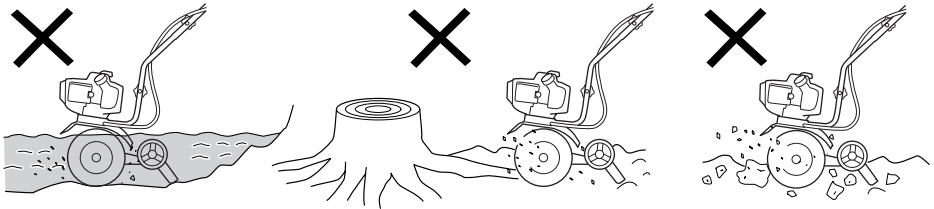
- **スロットルレバーをアイドルの位置にしたとき耕刃の動きが止まるのを確認してください。**
耕刃の動きが止まらない場合は、気化器のアイドリングを低くなるように調整してください。（P15「気化器」参照）
- **機体からはなれるときは、必ずストップスイッチを停止（STOP）の位置にしてエンジンを停止してください。**

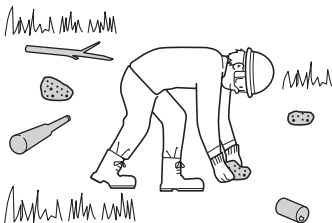
スロットルレバーを放し、エンジンが低速回転になってからストップスイッチを停止（STOP）の位置にします。

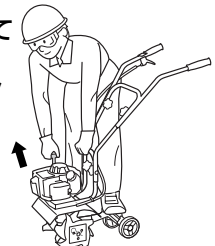
注 **長期間使用しないときは、タンクの燃料を抜き、再度低速でエンジンが自然に止まるまで運転しておいてください。**
気化器の中に燃料が残っていると燃料が劣化し故障の原因となります。

作業する

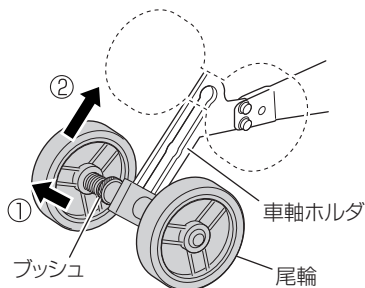
⚠警告

- 使用直後のギヤケース、耕刃は熱くなっています。素手では絶対に触れないでください。やけどをする恐れがあります。
- 作業するときは必ず両手でハンドルをしっかり握って使用してください。片手での使用は非常に危険です。
- 石の多い場所でのご使用は避けてください。耕刃に石、土塊などがはさまったり、草や根が巻き付いた場合は必ずエンジンを停止してから取除いてください。
  エンジンが回っているときにこれらの物を取除くと、不意に耕刃が回り危険です。

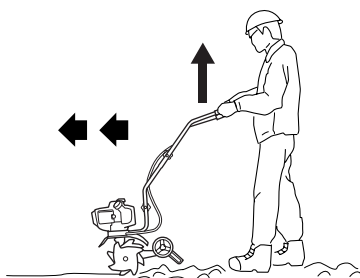
注
- 水中または根の這った場所、つたの多い所での使用は避けてください。
- 作業前に障害物(空き缶、ビン、石、ビニールひもなど)があったら取除いてください。
- 時々ハンドル締付ノブを調べ、ゆるんでいたら増し締めをしてください。
- 作業時のスロットル開度は、土の質や地面のかたさにより異なりますが、作業状態に合わせて調整してください。
  あまり速く耕刃を回転させますと一カ所を深く掘ってしまいます。
- 燃料タンクの形状上、燃料が残っていても、エンジンがかからなかったり、停止することがあります。
  燃料が少なくなってきたら、早めに給油してください。

1 作業場所を整備する

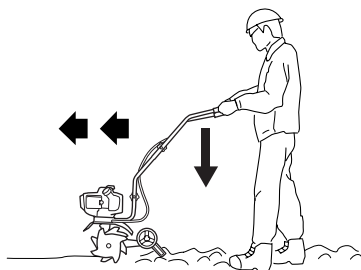
- 空き缶、針金、石、ひもなど耕刃に巻き込んでけがや事故、故障の原因になりそうな物は、あらかじめ取除いてください。
  (P 8「作業場所の整備」参照)

2 エンジンを始動する

- スロットルがアイドリングの位置にあることを確認してください。
- スターターハンドルを引くときは、必ず後ろに立って引いてください。
  (P 11「エンジンの始動／停止」参照)

3 尾輪を上げる

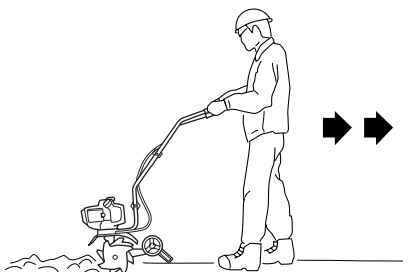
- 作業をするときは尾輪を上げておきます。
- ブッシュを引きながら、車軸を車軸ホルダの長穴上方に移動し、長穴上方でブッシュをはなすとU溝にブッシュがはまり車軸が固定されます。

4 作業する

浅く耕す

浅く耕すときはスロットルレバーを軽く握りながら早目に前進します。
深く掘りすぎて前に進まないときは耕刃を回転させたままハンドルを少し上に上げてやると前進します。

深く耕す

深く耕すときはハンドルを軽く下に押すようにして進めます。
さらに深く耕したいときは、ハンドルを軽く押え同じ場所での前後運動をします。

足跡を残さない

足跡を残したくないときは、後ろへ引きながら耕します。
転んでけがなどしないように、十分にゆっくりと、安全を確かめながら行ってください。

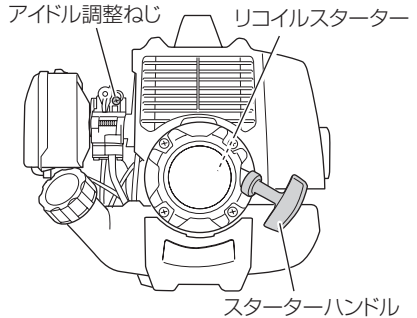
使い方

保守・点検・整備

⚠注意

- 保守・点検・整備の際は、必ずエンジンを止めて機体が冷えた状態で行ってください。また、プラグキャップをはずしてください。
- 保守・点検・整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

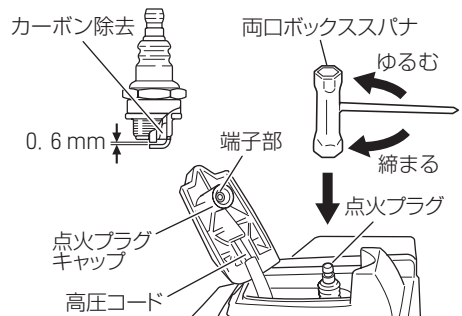
●リコイルスターター

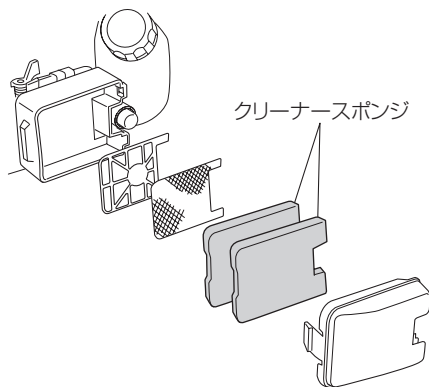
⚠警告

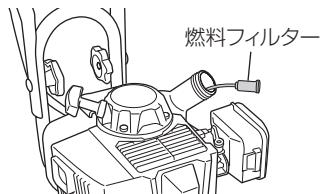
危険ですので、リコイルスターターを分解しないでください。
スターターハンドルが軽く引けない場合や、スターターハンドルを引いてもエンジンが始動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

●気化器

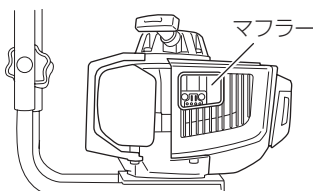
- 気化器の調整は、工場出荷時に済んでおりますので、なるべくさわらないでください。
- アイドリング回転が高すぎるとき（スロットルレバーを引いていないのに耕刃が回るとき）または低すぎるとき（エンジンが停止するとき）は、アイドル調整ねじで調整してください。（右回しでアイドリング回転が高くなり、左回しで低くなります）

●点火プラグ

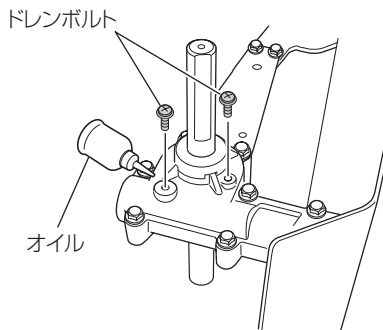
- 点火プラグは指定のものを使用してください。（P 7「仕様」参照）
- 最良の運転状態では点火プラグの電極が茶褐色に乾燥しています。
  電極のすき間は０.６㎜です。
- 汚損した場合は掃除し、ガソリンで洗い、乾かしてから使用してください。

●エアクリーナー

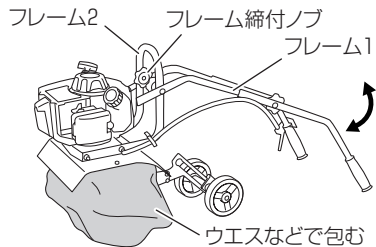
- クリーナースポンジが汚れ、目づまり状態になると出力低下や始動困難になります。クリーナースポンジは時々掃除し、汚れを落として目づまりを防いでください。
- クリーナースポンジを掃除するときは、ガソリンで軽く洗ってしぼり、乾燥させてから 2 サイクル専用オイルを少し含ませ、平均にオイルが広がるように軽く絞ってから取付けてください。

●燃料フィルター

- 燃料フィルターがつまるとガソリンが上がらずエンジンの回転不調の原因となりますので、時々点検してください。
- 汚れているときは、針金などで燃料給油口から引き出してガソリンで良く洗ってください。（汚れのひどいときは交換してください）

●マフラー

長時間運転しますと、マフラーの排気口の内部にカーボンが付着し、出力低下の原因になります。時々掃除してください。

●ギヤケース

- 使用 25 時間毎または年間使用が 25 時間未満の場合、年 1 回オイルを補充してください。
- 使用オイルは新日本石油ボンノック M 320 または同等品をご使用ください。
- オイルの補充は耕刃R 1 とR 2 をはずして行います。（P 10「耕刃の交換方法」を参照して耕刃R 1 とR 2 をはずしてください。）
- まわりの汚れを落としてからドレンボルトをはずします。
- 図の様な正立状態でドレンボルト（ 2 個）をはずし、穴から先の細い油差しで穴の口元から溢れる程度まで補充してください。

その他

保管方法

- 各部を十分に清掃し金属部には発錆防止のため 2 サイクル専用オイルを薄く塗ってください。
- 長期間（3 週間以上）保管するときは、燃料タンクから燃料を抜き取ってから自然に停止するまで空運転し、気化器の中の燃料を完全になくしておきます。
- 点火プラグをはずし、プラグの穴から少量の 2 サイクル専用オイルをシリンダーに流し込み、スターターハンドルを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。点火プラグをもと通りに取付けてください。
- スターターハンドルを引っ張って圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納してください。
- ほこり、湿気のない乾燥した、また温度が 50 ℃以上にならない場所に保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に格納してください。
- 燃料は屋内の火気の心配のない、冷たい乾いたところに、安全な容器にいれて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので使用しないでください。
- カルチベータを移動、保管する場合は安全のため、必ず耕刃をウエスなどで包んでください。
- 本機は正立状態（尾輪をおろした状態）、または図のようにハンドルを折りたたんだ状態で保管してください。

注 **ハンドルを折りたたむとき、または戻すときはフレーム 1 とフレーム 2 で指を挟まないように注意してください。**

故障診断

状 況		原 因	対 策
エンジンがかからない	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	正しい混合比（25：1）の燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている（異臭）	新しい燃料に交換する
		燃料を吸い込みすぎて、点火プラグが濡れている	1. 点火プラグをはずす 2. スターターハンドルを 5 ～ 6 回引いて余った燃料を出す 3. 点火プラグを装着する「点火プラグ」参照 4. スタートコントロールレバーを運転位置にし、スターターハンドルを引く
		燃料パイプが折れ曲がっているまたは、はずれている	燃料が流れやすいようにする
		気化器の不調	販売店に相談する

<table>
<tr><th colspan="2">状 況</th><th>原 因</th><th>対 策</th></tr>
<tr><td rowspan="5">エンジンがかからない</td><td rowspan="5">【電気系統】</td><td>ストップスイッチのリード線がショートしている</td><td>販売店に相談する</td></tr>
<tr><td>点火プラグが汚損している</td><td>交換または掃除する</td></tr>
<tr><td>点火プラグのギャップが広い</td><td>0.6 ㎜に調整する</td></tr>
<tr><td>高圧コードと点火プラグの接続が悪い</td><td>接続を直す</td></tr>
<tr><td>電気系の異常</td><td>販売店に相談する</td></tr>
<tr><td rowspan="6">エンジンはスタートするがすぐ停止する
停止しそうになる</td><td rowspan="6">【燃料関係】</td><td>燃料タンクに燃料がない、または少ない</td><td>正しい混合比(25：1)の燃料を入れる</td></tr>
<tr><td>燃料タンクに古い燃料が残っている(異臭)</td><td>新しい燃料に交換する</td></tr>
<tr><td>2サイクル専用オイルが混合されていない</td><td>販売店に相談する</td></tr>
<tr><td>スタートコントロールレバーが始動位置になっている</td><td>スロットルレバーを少し引いてスタートコントロールレバーを運転の位置に解除する</td></tr>
<tr><td>燃料系統に空気が混入する</td><td>燃料パイプや継手の接続を直す</td></tr>
<tr><td>気化器の不調</td><td>販売店に相談する</td></tr>
<tr><td rowspan="7">エンジンはスタートするがすぐ停止する
停止しそうになる</td><td rowspan="2">【電気系統】</td><td>点火ミス
●点火プラグの不良</td><td>新品と交換する</td></tr>
<tr><td>●電気系の異常</td><td>販売店に相談する</td></tr>
<tr><td rowspan="5">【その他】</td><td>エンジンのオーバーヒート
●点火プラグの番手違い</td><td>指定品に交換する「仕様」参照</td></tr>
<tr><td>●シリンダーまわりのごみづまり</td><td>掃除する</td></tr>
<tr><td>エアクリーナーの汚れ</td><td>掃除する</td></tr>
<tr><td>カーボンづまり(マフラー排気口)</td><td>掃除する</td></tr>
<tr><td>圧縮不足(ピストン、ピストンリング、シリンダー)</td><td>販売店に相談する</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">異常振動が出る</td><td>耕刃の取付け不良</td><td>「耕刃の交換方法」参照</td></tr>
<tr><td>ハンドル、その他の締付け部のゆるみ</td><td>チェックして増し締めする</td></tr>
<tr><td>耕刃の変形、または損傷</td><td>新品と交換する</td></tr>
<tr><td>耕刃のシャフトに雑草が巻き付いている</td><td>雑草を取除く</td></tr>
</table>

⚠ 警告

修理に使用する部品は必ず指定の純正部品を使ってください。

注 **「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00〜17：00	
●フリーダイヤル 0120-20-8822	※携帯電話からはご使用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783−0626	TEL (076) 263−4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896−1740	TEL (0798) 37−2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288−8676	TEL (082) 504−8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733−0255	TEL (087) 863−6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533−0231	TEL (092) 621−5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

400
部品コード　E99004402 A